



木のすまい仕様の家 「設えのあるすまい」

当時ご主人は、「外断熱・高气密」の住まいが良いと考えていて色々工務店などで話を聞いていましたが、当社で話を聞かれた際に「すまいも呼吸させなければいけない」といわれ考えが変わったそうです。また、その話と対応に以前感じていた不満を解決させる「誠意と熱意」を感じた事が大きな理由だったとも言われました。

このすまいに住んでからは友人を誘える家になったと奥様が喜んでいらしたのがとても印象的でした。以前のすまいの時は人を家に招くことに抵抗があったそうですが、建替えられてからは来られるご友人の方々から「木の香りがする」「素敵」と言ってもらえるそうです。お孫さんが生まれ、週末にはハイキングに出かけ、若い人と話すのが楽しいと生き生きとした表情のお二人を見てみると、寒さを忘れほっこりした気持ちになりました。



今月は、閑静な住宅街に3年前に終の住処として建替えられたI様のお宅にお伺いしました。寒さの厳しい日でしたがご夫婦で暖かく出迎えて頂きました。I様は、すまいづくりをするにあたり何件もの工務店やハウスメーカーを巡り、話を聞き、見学し、色々比べ歩かれたそうです。建替える前には、知り合いの関係で紹介された工務店で瓦を葺き替えたり外構を補修したりしていたそうですが、工事の進捗状況や連絡などに不満を感じていたので建替える時には、もつとコミュニケーションをとる事が出来、誠意と熱意のある会社で建たいという思いがあったそうです。

「暖差」のない家が理想

冬の時期に壁面がコンクリートの家に入るとひんやりとした冷たさを感じることはありません。逆に断熱がしっかり施された部屋なら、ふんわりと包み込んでくれるような温もりが感じられます。

私たちの身体が室内で熱を交換する相手は、空気が半分残りで壁や床・天井・窓などです。冬の場合、私たちの身体とまわりの環境との熱交換では、その温度差が小さいと身体からの放熱量が適度になり、その結果、暖かく快適に感じるようになります。

また、温度差を小さくすることは、ヒートショック対策にも有効で、私たちの身体は温度の変化に対して体温を一定に保つために血液量をコントロールしています。急激な温度変化によって血管が一気に収縮することで、血圧や脈拍に変動を起こすのです。最悪の場合、心筋梗塞などにもつながりかねないため、温度差はできるだけ小さい方がいいのです。

そのためには以前にもお話しした間取りでの工夫（広がり間取り）や断熱性を向上させることで身体との温度差を小さくすることができ、さらに部屋の温度を必要以上に上げたり下げたりしないでも十分快適に過ごすことができるため省エネにもつながるのです。

ひょうご木のすまい協議会
会長 三渡 圭介

【兵庫県庁林務課からのお知らせ】

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

【融資制度の概要】

融資利率1.0%固定(平成25年3月31日融資実行分迄)

●新築・増改築

最高限度額: 2,000万円(返済期間25年以内)
ただし、県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能です。なお、26日目以降の利率は2.0%になります。

●リフォーム

最高限度額: 500万円(返済期間10年以内)
※平成25年4月1日～平成25年9月30日融資実行分の利率については、平成25年3月に決定します。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。

兵庫県 木造住宅ローン

— ひょうご木のすまい協議会のイベントご案内 —

小冊子

「キノコイェノコ ひょうご2012」

「ひょうごの木を使った木の家」について、ユーザーの話や兵庫県林務課の話などが、掲載されております。木のすまいの考える「スマートハウス」では、より良くひょうご木のすまい協議会を理解していただく内容となっております。

- 小冊子「キノコイェノコ」ご希望の方は事務局まで～送り先を事務局までお知らせ下さい。



※バックナンバー(ひょうご2011、2010、2009)もございます。数に限りがありますので、ご希望の方はお早めにお申込ください。

